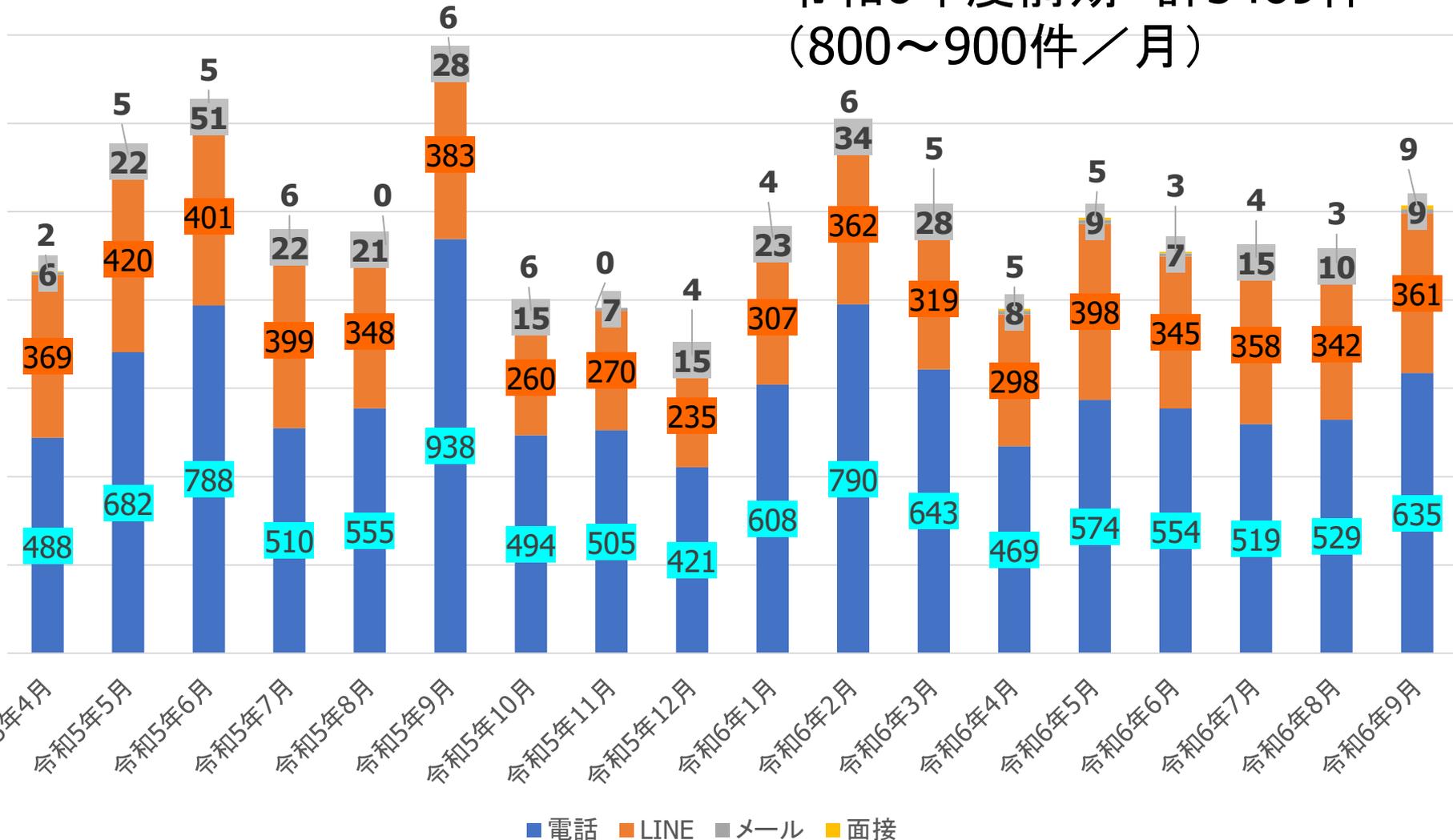


東京都若者総合相談センター 若ナビα



相談実績 (R5/4月～R6/9月)

令和6年度前期 計5469件
(800～900件／月)



相談手段別の相談者属性 (R6/4月～R6/9月)

今年度前半半年、全体では9割以上が本人から、面接は本人以外が半数超

LINEは本人の相談が多く、メールは本人外が比較的多い



		電話		LINE		メール		面接		合計	
本人		2883	88%	2015	96%	48	83%	13	45%	4959	91%
本人以外		397	12%	87	4%	10	17%	16	55%	510	9%
	父	22	1%	5	0%	4	7%	2	7%	33	1%
	母	258	8%	53	3%	5	9%	12	41%	328	6%
	その他家族	19	1%	5	0%	0	0%	0	0%	24	0%
	友人・知人	10	0%	0	0%	1	2%	0	0%	11	0%
	支援機関等	66	2%	0	0%	0	0%	2	7%	68	1%
	その他	5	0%	0	0%	0	0%	0	0%	5	0%
	不明	17	1%	24	1%	0	0%	0	0%	41	1%
合計		3280		2102		58		29		5469	

最近増加傾向のキーワード



R6/4月～9月(電話相談のみ 3280件)

■不登校、ひきこもり 104件

高3の娘が摂食障害で夏から不登校(家族)
コロナでOL卒業、そのままひきこもりに(本人)

■ホスト、風俗 48件

ホスト通いがやめられない(本人、家族)
風俗(デリヘル)で働いているが、店自体の客数が減りしんどい(本人)
娘がホストにハマリ、借金返済のため風俗で働いている(家族)

■借金、浪費、押し活 65件

借金があるが返済していない娘に、どのくらい干渉していいか(家族)
浪費癖があり、お金があると地下アイドルに使ってしまう(本人)
洋服、化粧品 趣味の観劇に夢中になって毎日のように浪費している(家族)

■闇バイト、詐欺 21件

非行傾向の息子が詐欺の受け子などに巻き込まれるのではと心配(家族)
逮捕歴あり、生活苦しい。闇バイトをして、刑務所に戻りたい(本人)

比較的本人からの相談は少なく、切実なのは家族。

本人は支援に乗らず、
家族が相談に来ることが多い。

今後、若ナビαとして本人不在 の相談にどう対応していくか

若者は自分自身で困り感を感じにくく、相談に慣れていないため、相談に来るのは家族や支援者からが多くなる

◆家族や支援者からの相談への対応

→まずは家族や支援者と繋がり、粘り強く本人へのアプローチは続けていくことが必要なので、つながり続ける方法を工夫(事例①)

→若者の相談を聴くスキルだけではなく、家族の関わり方についての助言など、家族相談のスキルアップを目指す(事例①～④)

→家族の気持ちをフォローする場として、家族会などを紹介(事例④)

◆地域、関係機関との連携強化

→つながりにくい本人のためのアプローチや継続した家族相談ができる、地域の若者を対象とする支援機関の情報収集、連携強化に努める(事例①～④)

→非行、犯罪の相談は支援者からの依頼がほとんどで、本人と会う機会が限られ、本人の支援意欲も低いので、つながりが切れない支援の工夫(事例④)

→非行や犯罪、借金等については、法律相談等との連携強化(事例②～④)

日常的な情報収集と関係機関との連携が重要